

2024年1月9日  
北海道電力株式会社

## 泊発電所におけるマルファンクション付与訓練の試行について

### 1. 訓練試行内容（案）

#### （1）実施予定時期

2024年3～4月頃

#### （2）対象訓練

可搬型大型送水ポンプ車によるCCWSへの給水訓練（要素訓練として実施）

### 2. 対象訓練選定にあたっての検討事項

- 前回面談（2023年10月23日）において、日本原電殿が給水訓練、当社が給電訓練を対象として試行予定としていたが、給水・給電訓練以外で、かつ屋内作業を含む訓練を検討できないか、との議論を踏まえ、対象訓練について再検討を行った。
- 現状、泊発電所にて重大事故等対応手順として整備し、訓練を実施している手順のうち、屋内作業を含むものを抽出し、その中から今回の試行にあたって適切と考えられる条件（環境条件の悪化による臨機な対応が期待できる、ある程度の作業量がある、模擬とする作業が極力少ない、等）を踏まえ検討した結果、給水訓練以外で条件に合致する訓練は無かった。
- 今年度、訓練試行を実施する日本原電殿では、SF<sub>6</sub>給水訓練を対象とする計画であることを考慮し、泊発電所では、「可搬型大型送水ポンプ車によるCCWSへの給水訓練」を対象とすることとする。
- 上記訓練では、屋内作業としてCCWS接続口へのホース敷設作業が含まれており、屋内でのマルファンクション付与による対応を確認することが可能である。  
（想定訓練時間は約4時間、屋外と屋内の作業割合は6：4程度）

### 3. 今後の検討事項

- マルファンクション事例リスト（日本原電殿資料）を参考に上記対象訓練において付与が可能となる具体的なマルファンクションについて検討し、マルファンクションリストを作成する。
- 日本原電殿の試行訓練（2024年2月実施予定）の結果も踏まえ、訓練体制やマルファンクション付与方法等、詳細な訓練実施方法について検討を進める。

以上